

# 情報アクセシビリティに関する提言

一般財団法人 全日本ろうあ連盟  
青年部長 吉田 航

# 一般財団法人全日本ろうあ連盟 Japanese Federation of the Deaf Youth Section 青年部

## 活動の3本柱



仲間  
づくり

学習  
づくり

要求  
づくり



- ▶全国ろうあ者大会 青年のつどい  
ご当地ならではの学習・交流！
- ▶全国ろうあ青年部活動者会議  
活動情報の情報交換やリーダーシップ研修！
- ▶全国ろうあ青年研究討論会  
1966年に初開催。入門講座・5つの分科会で  
各々が抱える諸問題を情報交換・討論！

仲間の輪はアジア・世界へ



国際交流も行っています



Blog Instagram



<http://jfdys.net> jfdys1969

国際手話入門講座 実施



Let's Try 国際手話 絶賛発売中!



# 50

ただ今、制作中!!  
青年部発足50周年記念誌

# 未来は青年のもの

18～35歳までのろう青年会員 会員数 約1300名

# 全国ろうあ青年研究討論会



ろう青年だけでなく、手話を学ぶきこえる青年も参加。  
参加者:約300~400名

# 情報アクセスの課題

交通

電車、バス等 アナウンスがきこえない  
トラブル時は音声で対応が基本

文化

映画に字幕がない  
イベントに情報保障がない

労働・教育

テレワークやオンラインで情報保障がない

ICT化

便利になる一方で付いていける人と  
取り残される人の差が開く

# コロナ禍によって新たな障壁

- ・マスク着用の徹底で意思疎通が困難
- ・生活や命にかかわる記者会見に手話言語通訳がない

# 東京オリンピック・パラリンピック

- ・「多様性と調和」を基本コンセプト。共生社会を謳っていた。  
→オリンピック開会式に手話言語通訳がない  
韓国や台湾、カナダなどは最初から放送されていた。

# 情報アクセシビリティへの期待

- アクセスを妨げているバリアをなくす  
日本は後手に回る。法整備の必要性が高い。
- すべての人が利用できる環境をつくる  
当事者の参画

# 理想は

「情報アクセシビリティ・コミュニケーション保障法」  
と「手話言語法」の制定を！

小・中・高・大学の授業に英語と同様に「手話言語」を  
→全員が手話言語を学び、習得できる環境に  
→いつでもどこでも誰とでも手話言語で話せる社会

共生社会の実現のために共に頑張りましょう！



